

インフォシス社とマイクロソフト社が世界規模の戦略的提携を発表 両社共同でトップクラスの e ビジネスソリューションを供給

インフォシス・テクノロジーズ社

2000年9月14日、ニューデリー発

ITコンサルティングとソフトウェアサービス大手、インフォシス・テクノロジーズ社(NASDAQ: INFY)とコンピュータソフトウェアの世界的リーダーであるマイクロソフト社(NASDAQ: MSFT)は、本日グローバルな戦略的提携を発表しました。

この提携は、インフォシス社のビジネスソリューションサービスとマイクロソフト社の NET エンタープライズサーバーを用いて構築された企業サービスの総合的ポートフォリオを開発、促進し、供給するためのものです。これにより、数多くの実績を持つインフォシス社の高いソリューション開発技術とマイクロソフト社の大規模かつ信頼性の高いプラットフォームが組み合わせられ、費用対効果の優れた e ビジネスソリューションの提供が可能となります。

このグローバルな戦略的提携の一環として、インフォシス社とマイクロソフト社はカスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)、e コマース(電子商取引)、金融サービス、保険及び小売りなどの分野向けビジネスソリューション製品を開発します。また、マイクロソフト・インド支社とインフォシス社は協力し、インフォシス社のトップクラスのソリューション開発力、供給能力をインドの大企業に導入していく予定です。同時に、インフォシス社はコンピテンシー・ハイエンド・ソリューションを展示します。更にマイクロソフト社は、マイクロソフト・コンサルティング・サービス(MCS)の為に人材提供及び技術トレーニングをインフォシス社のコンサルタント向けに行います。両社はまた、販売協力及びアカウント・プランニングも行います。

この記者会見でインフォシス・テクノロジーズ社の会長兼経営最高責任者、N. R. ナラヤナ・ムルティー氏(N. R. Narayana Murthy)とマイクロソフト社の会長兼チーフ・ソフトウェア・アーキテクト、ビル・ゲーツ氏は以下のように述べています。

マイクロソフト社 USA 会長兼チーフ・ソフトウェア・アーキテクトのビル・ゲーツ氏は「インフォシス社は米国だけでなく国際市場において、そのソリューション開発力を武器に今後も益々評価を高めていくだけでなく、マイクロソフト・テクノロジーの訓練を受けた人材の供給元となるでしょう。両社で協力し、既存顧客及び見込み客にトップクラスの e ビジネスソリューションを供給することが出来ます。」と述べています。

インフォシス・テクノロジー社の会長兼最高経営責任者、N. R. ナラヤナ・ムルティー氏は「インフォシス社はマイクロソフト社の戦略的パートナーとなることができ、喜んでいきます。マイクロソフト社のプラットフォームで技術訓練を受けた 1200 人以上の専門家をグローバルに配し、最新のマイクロソフト・テクノロジーを効果的に活用し、顧客のビジネスに利益をもたらすことができます。」さらに、「この関係は(当社の)フォーチュン 1000 社顧客ベースの拡張につながると思います」と述べました。

「マイクロソフト社は、画期的なウインドウズ 2000とMicrosoft .Net に基づいたソリューションでインフォシス社と協力し、世界中の当社顧客の事業価値を上げるために全力を尽くします。」と**マイクロソフト社エンタプライズ・パートナーグループのグローバルパートナー担当総支配人ジェフ・ニーハイム(Geoff Nyheim)**は述べました。「インフォシス社は、マイクロソフトを中核とした技術開発手法への投資を加速しており、新しいドットネット世代のサービスやソリューションの急激な需要に対応するには非常に良いタイミングです。インフォシス社のトップクラスの供給力により、フォーチュン1000社におけるマイクロソフト社の位置付けは更に上がるでしょう。マイクロソフト社は当社の製品、コンサルティング、サポートおよび販売チームと一緒にインフォシスと密接な関係を保ちながら、市場および顧客中心のイニシアチブを世界的に広めていきます。」

インフォシス社はマイクロソフト・エンタプライズ・ソリューションのプラットフォーム上でソリューションを展開し、導入しました。これらのソリューションはマイクロソフト社のプラットフォームを用いて CBS スポーツライン(Sportsline)、デル社、エーオンコーポ(Aon Corp)、フランクリン・テンブルトン・インベスト(Franklin Templeton Investments)およびノードストローム(Nordstrom)を含む多くのカスタマー用に開発されました。

《本件に関するお問い合わせ》

インフォシス・テクノロジーズ社 アジア・太平洋地域オペレーションズ
担当: V. シュリラム

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町4-13 マドレ松田ビル

Tel : 03-3234-3597

Fax : 03-3239-3300

E-mail : vsriram@inf.com

インフォシス・テクノロジーズ社(NASDAQ: INFY)について

インフォシス・テクノロジーズ社はグローバル企業および新興ドットコム企業にエンド・ツー・エンドのコンサルティングを提供する IT コンサルティング・サービスプロバイダーです。インフォシス・テクノロジーズ社はフォーチュン 1000 社のいくつかの企業とパートナーシップを持ち、競争上の優位性を得るために次世代の情報基盤を構築しました。インフォシス社のサービスには e 戦略コンサルティングとソリューション、大型アプリケーションの開発と企業統合サービスがあります。また、デジタル経済の基礎的要素を作る多数の通信およびインターネットのインフラ企業との製品共同開発イニシアティブを持っています。

インフォシス社のグローバル・デリバリー・モデルは世界の異なった地域の人材、インフラストラクチャーを利用し、ハイクオリティの短期間市場導入ソリューションを提供します。インフォシス社米国本社はカルフォルニア州フレモントに所在し、また、営業所を米国、ヨーロッパおよびアジアに置いています。詳細情報についてはインフォシス・テクノロジーズ社、米国、+1(510) 742-3046、インドでは、+91-80-8520261、日本では 03-3234-3597 にご連絡ください。あるいは、インフォシスのウェブサイト、www.infy.comをご覧ください。

■ マイクロソフト社について

マイクロソフト社は 1975 年に創立されたパーソナル・コンピュータおよびビジネス・コンピュータ用ソフトウェアの世界的リーダーです。マイクロソフト社は、優れたソフトウェアによっていつでも、どこでも、また、どの装置でも人々に機能を与えるように設計された広範囲の製品とサービスを提供します。

© 2000 Microsoft Corporation、全権所有

Microsoft、Visual Basic、Visual C++、Windows および Windows NT は米国および/または他の国の Microsoft Corp の登録商標です。

上記の実際の企業名および製品名は各々、所有する企業の商標です。

セイフハーバー

ここに記載の過去の情報、議論以外の本発表に含まれる記載事項は「進取の声明」であり、これらには、進取の声明の予測とは異なった結果になる可能性のある多くのリスク、不確定性などの要因が含まれています。これらのリスクや不確定性には、競合、買収に限らず、勧誘、リクルーティングおよび高度熟練従業員の確保、テクノロジー、法律・規制方針、および顧客のプロジェクトに付随するリスクや、インフォシステクノロジーズが証券取引委員会に提出した報告に詳しく記載されている他のリスクの管理を意味します。インフォシス社はこの日付以後の出来事または状況に応じて進取の声明を更新する義務を負いません。